

a 第1回・第3回大賞受賞者

綾門優季

劇作家。青年回リンクキユイ主宰。青年団演出部。2013年、『止まらない子供たちが帰ってきてゆく』で第1回せんだい短編戯曲賞大賞を受賞。2015年、『不眠普及』で第3回せんだい短編戯曲賞大賞を受賞。「坂あがり相談室 plus」2013年度版1対象者として選出。2019年、第10回せんかわ劇場演劇コンクールにて劇作家賞を受賞。急な坂スタジオWEBにて「余計なお世話です」連載中。

「非公式な恋人」

演出：中村大地 (原根裏ハイッ)



「非公式な恋人」(2017) 撮影：大橋絵莉花

b 第1回大賞受賞者

横山拓也

1977年1月21日生。大阪府出身。劇作家、演出家、iaku代表。ある問題に対して議論や口論の構図を作り、正解に辿り着けないもどかしさや、アイデンティティの揺らぎなど、誰もが生活の中で経験する事象をエンタテインメントに仕立てる作風を得意とする。第15回日本劇作家協会新人戯曲賞「エダニク」、第1回せんだい短編戯曲賞「人の気も知らないで」、第72回文化庁芸術祭賞新人賞(関西の部)ほか。

「夜のオシノビ」

演出：本田 椋 (劇団短距離男道ミサイル)



「夜々と運針」 撮影：堀川高志

c 第2回大賞受賞者

西 史夏

劇作家、脚本家。兵庫県宝塚市出身。大阪音楽大学音楽学部卒業。シナリオセンター大阪校でシナリオを、伊丹想流私塾で戯曲を学ぶ。第6回富士山・河口湖映画祭シナリオコンクールグランプリ(2013)、第1回ころのとり短編戯曲賞最優秀賞(2014)、第2回せんだい短編戯曲賞大賞(2014)、日本の劇戯曲賞大賞(2015)、ふじのくにせかい演劇祭2015 劇評コンクール最優秀賞。

「Bridge」

演出：中村大地



「檸檬の島」 撮影：日高仁

d 第2回大賞受賞者

川津羊太郎

劇作家。1976年熊本県生まれ。2010年、岡田利規「三月の五日間」に感銘を受け、初の戯曲「妄想剥離」を執筆。2012年、戯曲「白霧狂ひつ、開裂きつ。」が第4回泉鏡花記念金沢戯曲大賞・佳作受賞。同年、戯曲「悪依」が第4回九州戯曲賞大賞受賞。2014年、短編戯曲「街に浮遊する信号機」が第2回せんだい短編戯曲賞大賞受賞。

「ユーグレニ ユーグレナ」

演出：本田 椋



「今宵、分裂する世界と邂逅するいくつかの嘘」

e 第4回大賞受賞者

柳生二千翔

劇作家／演出家／映像作家。1993年生まれ、愛媛県松山市出身。「女の子には内緒」主宰、劇団「青年団」演出部所属。様々な土地で滞在製作・リサーチを行い、「土地「街」という単位を通して、自らの一生に留まらない長い時間と、そのなかで暮らす多種多様な人間の生活を描く。2017年、急な坂スタジオ「坂あがり相談室 plus」選出。2018年、第1回田畑実戯曲賞を受賞。

「光を束ねる」

演出：本田 椋



「うたたね姫 リミックス」 撮影：横田敦史

f 第4回大賞受賞者

藤井颯太郎

1995年生まれ。写真家や振付家、映画監督など様々な作家がはじめてたかかって演劇を作る集団「[X]劇場」の代表。18歳の時に書いた戯曲「ミルユメコリア」で第4回せんだい短編戯曲賞を受賞。文化庁文化交流事業で韓国へ招致され「56db」を製作、二カ国四都市で上演。伊藤郁女 × 森山未来「Is it worth to save us?」ハリ公演などにシナリオで参加するなど結構がんばっている。牛タンが食べたい。

「56db」

演出：中村大地



「百年」 撮影：白井康平

g 第5回大賞受賞者

大竹竜平

グラフィックデザイナー／劇作家。武蔵野美術大学卒業後、デザイン事務所、広告制作会社勤務を経て現在フリーランス。チーム夜営で劇作家・宣伝美術として活動中。2019年10/25-27に都内のBUCKLE KOBOで「タイトルはご自由に。リハース」を上演。2020年5月に新作「チーム夜営 Vol.7 ヤツデのころ」を都内で上演予定。2019年美術手帳10月号掲載の漫画「The Space Potter」では原作を担当。(作画：寺本愛)。

「God Bless You.」

演出：小濱昭博 (劇団短距離男道ミサイル・チーム夜営)



チーム夜営 Vol.6 「上にまいます。」 撮影：廣瀬文音

h 第5回大賞受賞者

鈴木 穰

劇作家・演出家・俳優・ナレーター。「cineman」を主宰し、公演活動を行う。「ひみつ箱」で、第5回せんだい短編戯曲賞大賞受賞。他に「にわか雨、ときたま雨宿り」で、「日本の劇戯曲賞 2011 最優秀賞」受賞。また、劇作家協会戯曲ゼミ研修課・松田正隆クラスに在籍し、戯曲についての学びを続けている。ジェイ・クリップ所属。

「なつのよる」

演出：小濱昭博



「にわか雨、ときたま雨宿り」(2014) 美術：青木拓也

i 第6回大賞受賞者

ピンク 地底人3号

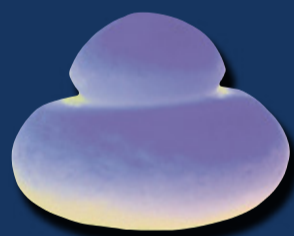
2009年同志社大学文学部文化学科美術芸術学専攻卒。ピンク地底人三兄妹の長男。2015年より「もちの世界」を結成。元納棺師という経験を生かし、「生」と「死」の中間を描く事に執着している。2019年『鎖骨に天使が眠っている』で第24回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。

「シルバスキ」

演出：小濱昭博



「鎖骨に天使が眠っている」 撮影：マツダミナタカ



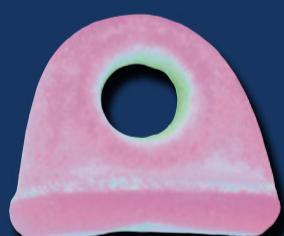
Yuki Ayato



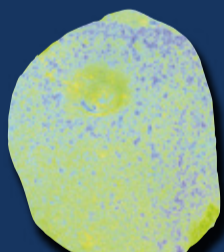
Takuya Yokoyama



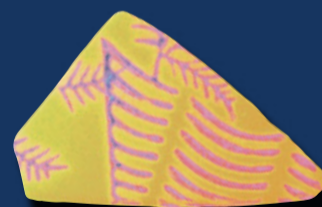
Fumika Nishi



Yotaro Kawazu



Nichika Yagyū



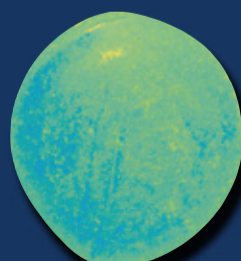
Sotaro Fujii



Ryuhei Otake



Yutaka Suzuki



Pinkchiteijin No.3

歴代大賞作家 9人の短編戯曲を 仙台で一挙上演。

「短編作品」を「日本各地の制作者／プロデューサーが選考」し「最終候補作が冊子化」される、3つの特徴を持った「せんだい短編戯曲賞」。2013年からこれまでに9名の大賞作家が選出されました。今回、歴代の大賞作家全員がこの企画のために用意した多彩な短編作品9本を、仙台を拠点に全国的に活躍する劇団 短距離男道ミサイルが連続上演。10-BOXから生まれる、短編戯曲との出会いの形、それが「SENDAI SHORT STORIES」です。